

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 327 事業名 児童館管理運営事業

[事業基本情報]

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	3	子育て支援の充実
施策	1	子育て支援の充実
取組	3	子どもが健やかに育つことができる環境づくり

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		民生費	
	項		児童福祉費	
	目		児童館費	
	大事業		児童館運営事業	
事項		児童館管理運営事業		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
事業実施の根拠法令	児童福祉法		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	子育て支援課	宮崎 久	435-1329
関連課			

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
	○		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	事業内容				
	児童に健全な遊びを与え、児童の健康を増進し、情操を豊かにすることを目的に児童館を運営する。	児童の健康増進及び健全な遊びの場を提供するために管理運営を行っている。平井児童館、杭の瀬児童館、芦原児童館、善明寺児童館、鳴神児童館、岩橋児童館、木ノ本児童館、本渡児童館の計8箇所。午前8時30分から午後5時15分まで運営しており18歳未満のすべての子どもを対象としている。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		児童館管理運営	児童館管理運営	児童館管理運営	児童館管理運営	児童館管理運営

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	20,505	17,787	21,758	20,478	21,945	19,616	21,140	19,518	20,296	
伸び率 (%)	-	-	6.1%		0.9%		-3.7%		-4.0%	
人件費	常勤職員	66,098	66,551	66,551	69,878	69,878	64,256	64,320	53,978	53,978
	非常勤職員	23,073	23,073	23,073	32,290	32,290	32,290	33,625	33,625	33,625
	小計	89,171	89,624	89,624	102,168	102,168	96,546	96,610	87,603	87,603
国庫支出金	0		0		0		0		0	
県支出金	0		0		0		0		0	
市債	0		0		0		0		0	
その他	181	122	175	173	175	163	175	154	175	
一般財源（税等）	20,324	17,665	21,583	20,305	21,770	19,453	20,965	19,364	20,121	
所要人数	常勤職員	8.63	8.68	8.68	9.25	9.25	8.51	8.52	7.28	7.28
	非常勤職員	11.25	11.25	11.25	12.8	12.8	12.8	16.19	16.19	
主な予算内訳	需用費 13,233千円 役務費 2,613千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	運営箇所数					年度目標値	8	8	8	8
						実績値	8	8	8	8
	単位	全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
						年度目標値				
成果指標	利用児童数					年度目標値	80,000	80,000	80,000	80,000
						実績値	71,847	75,281	78,432	69,620
	単位	人	全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度	89.8%	94.1%	98.0%	87.0%
						年度目標値	7,700	7,700	7,700	7,700
利用件数					実績値	8,082	8,162	8,543	8,484	
	件	全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度	105.0%	106.0%	110.9%	110.0%	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	情操教育の拠点として重要な役割を果たす児童館は、子どもにとって極めて必要な施設と考えられる。
<p>「見直し」 「改善」案</p> <p>※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「<u>現状維持</u>」以外の場合は記載</p>	